

巻 頭 言



佐賀県知事 山口 義典よしのり

志を一つに

私は、知事就任以来、「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」を県政の基本理念として、人と人とのつながりを大切に歩んでまいりました。

今、佐賀県では、子どもの教育や災害救助活動など、地域に根差した活動をしているCSO（市民社会組織）に加え、世界規模で難民支援や被災者支援を行うCSOも新たに仲間に加わり、多様化する地域課題や社会課題の解決に協力して取り組んでいます。

こうしたCSOの豊富な知見や経験、そしてきめ細やかな支援は佐賀県の大切な財産であり、CSOと行政が「志」を一つに、様々な課題に取り組んでいけることが、佐賀ならではの唯一無二の強みとなっています。

今年2月に始まったロシアのウクライナ軍事侵攻により、ウクライナの人たちが国外への避難を余儀なくされています。佐賀県では、人道的な見地から、国際社会の一員として、ウクライナからの避難民の方々の受け入れ支援を行うため、3月9日と早い段階から全国初の官民連携によるウクライナ避難民受け入れ支援プロジェクト「SAGA Ukeire Network ～ウクライナひまわりプロジェクト～」が始動しました。

入国に必要なビザ取得の支援から、住居や生活物資提供、日本語教育支援、就労・就学支援などの幅広い支援をワンストップで実施し、県やCSOのスタッフが身元保証人となって地縁のない人々を受け入れる支援プログラムは、全国にも類を見ないものとなっています。

こうした支援ができたのも、CSOと行政の連携で培われてきた素地があったからこそと感じています。避難民の方々が佐賀の地で少しでも平穏な生活を取り戻されるよう、一人一人の気持ちに寄り添いながら、「佐賀だからこそできる」きめ細やかな支援に取り組んでまいります。

佐賀は、古くから世界とつながり、多様な知識や技術を取り入れながら、産業、医療、文化など様々な分野で歴史的に重要な役割を果たしてきました。そして今も、そうした先人たちの軌跡や志を郷土の誇りとして、多様な価値観を受け入れ、日々発展を続けています。

私はこれからも、県民と世界の人々が笑顔で交流し互いに理解を深める環境づくりに力を入れ、世界とのつながりの中で新たな価値を生み出しながら、世界に誇れる佐賀を創り上げてまいります。

※CSOとは

Civil Society Organizations〔市民社会組織〕の略。

市民が主体的に社会貢献活動を行う民間の非営利団体（志縁組織）及び地域住民で構成された地縁組織であって、NPO法人、市民活動・ボランティア団体に限らず、自治会、婦人会、老人会、PTAといった組織・団体を含む団体をいう。